

# 新潟大学歯学部同窓会 Newsletter

同窓会事業の様子をお届けします。

## 会長挨拶

2025年が始まり、暖かい春を迎える候となりました。

今年は、十干（じっかん）の「乙」と十二支の「巳」が組み合わさった「乙巳」（きのと・み）で「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と言われています。乙は「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。

巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。60年に一度の乙巳の年はどんな年になるのでしょうか。

新年早々、大変喜ばしいニュースが入ってきました。歯周診断・再建学分野の高橋 直樹准教授（歯学科36期）が北海道大学歯学部教授に令和7年4月1日に就任されることになりました。

昨年11月には本学歯科矯正学分野教授に丹原 惇先生（歯学科37期）が就任されたばかりでしたので、教授就任ラッシュを嬉しく思っています。本学出身の教授は現時点（令和7年1月）では、72名となり、今後も輩出されることを期待しております。

今年は、女性会員支援部から、女性会員への支援について女性会員の皆さまにアンケートを取らせて頂きますので、ご理解の上、ご協力をお願い致します。頂いたご意見ご希望をもとに同窓会事業の活性化につなげたいと思います。

さて、この4月には歯学科55期生、口腔生命福祉学科18期生を同窓会の新入会員として歓迎したいと思えます。未来を開く彼等、彼女らの活躍を見守り、誇りに思ってもらえるように活動して参りたいと思えます。

結びに、未だに能登半島地震の影響により辛い思いをされておられる方々には心からお見舞い申し上げると共に、会員の皆さまにとって、心安らぐ、希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。

会長 有松 美紀子



（竹内千恵鶴見同窓会長、  
高橋英登日歯会長、有松）



丹原 惇先生が  
本学 歯科矯正学分野の  
教授に就任されました。

2024年11月、歯学科37期 丹原惇先生が本学 歯科矯正学分野の教授に就任されました。

同窓会慶弔規約による金一封のお祝いを同窓会より差し上げました。

2025年1月26日  
日本大学歯学部同窓会の創立100周年記念式典・  
記念講演・祝賀会に出席しました。

盛大な式典で、約500名の方々が出席されていました。日大歯学部の建学の精神やその歴史について学ぶことができました。

2024年11月16日・17日

全国歯科大学同窓・校友会懇話会および懇親会、  
国公立大学歯学部同窓会連絡協議会に参加してきました。



2024年11月16日(土)に第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会および懇親会(全歯懇)が、翌日17日(日)に令和6年度国公立大学歯学部同窓会連絡協議会(国歯協)が開催されました。

本年度は全歯懇は神奈川歯科大学が当番校で、国歯協は九州歯科大学が当番校でした。

当同窓会からは鈴木 一郎副会長(歯学科11期)、葭原 明弘副会長(歯学科17期)、加藤 幸生広報名簿部部长(歯学科29期)が参加、各大学と情報交換をしてきました。



## 2024年11月10日 学術セミナーIII「明日から役立つ口腔顔面痛と神経の深い関係」が開催されました。

講師の照光 真先生(歯学科31期 北海道医療大学歯学部歯科麻酔学分野 教授)、そして参加された多数の皆様へ感謝申し上げます。

